

日本図書館情報学会会報

No. 142 (Web版)

2011年6月

日本図書館情報学会事務局

〒150-8366 東京都渋谷区渋谷 4-4-25

青山学院大学教育人間科学部教育学科野末研究室内

E-mail : tnozue@ephs.aoyama.ac.jp

学会ホームページ : <http://wwwsoc.nii.ac.jp/jslis/>

ゆうちょ銀行 口座番号=00160-5-0045759 口座名義=日本図書館情報学会

ゆうちょ銀行 019店 口座番号=当座 0045759 口座名義=日本図書館情報学会

2011年度事業計画・予算案の提案にあたって

会長 根本 彰

5月21日(土)の午後、東京大学にて、本年度第一回の理事会が開催されました。その場で、今期の課題と今年度の事業計画、予算案についてご説明申し上げ、基本的に承認をいただきました。会員の皆様にこれらの点について改めてご説明し、賛否についての投票をお願い申し上げる次第です。

会報の前号で申し上げたとおり、昨期の学会は一時的な財政問題のために基本的な事業遂行に限定して活動いたしました。新しい事業として図書館情報学検定試験の準備を行いました。が、(財)図書館振興財団からの支援のおかげで財政的な負担は軽いものでした。こうしたことから、かなりの額の繰越金が生じています。今期の目標としては、抑制的な財政執行についての基調は変えないにしても、今までやりたくてもやれなかったことを実施するとともに、弱かった学会の事務局態勢を整備して今後の長期的な活動基盤をつくることをめざしたいと考えています。

まず今期の新しい事業ですが、第一に、図書館情報学検定試験の準備を継続します。昨期の図書館情報学検定試験準備実施委員会の報告書の末尾に、これを継続するにあたっての二点の課題があったことに対応します。一つは、検定試験実施は図書館情報学教育の質の向上という大きな目標の手段であった初心に立ち返るといふ点です。これについて、今期は「図書館情報学教育特別委員会」(委員長は会長の兼務)を設置し、そこに図書館情報学教育についての研究を行うワーキンググループをつくり内外の教育の実情を明らかにし今後のあるべき方向を明らかにする研究活動を行います。

もう一つの課題は、継続するにしても依然として外部資金が必要であるという点です。昨年度の検定試験は270名の応募があり実受験者は238名という実績でしたが、これでは学会が自立した運営をするには程遠い状況です。外部資金としては、すでに日本学術振興会の科学研究費補助金(「図書館情報学教育を高度化するための研究基盤形成」(2010年~2014年基盤研究A:研究代表者は会長)による資金を導入することが可能になっているので、これを当てる予定です。検定試験の実施は先に挙げた「図書館情報学教育特別委員会」が担うものとします。外部資金をあてにした実施に限界があることは明ら

かなので、この3年間で獲得すべき受験者数の数値目標を掲げ、それに達しなければこの事業はそこで終了することを宣言します。

第二の新しい事業としては、『図書館情報学用語辞典』第四版の編集委員会の立ち上げおよび「図書館情報学のフロンティアシリーズ」の後継プロジェクトの検討など、新しい出版物の企画編集の開始です。前者については、初版を1997年に発行以来ほぼ5年ごとに改訂版を出してきましたので、次の版を求める声が強くなってきたことを受けています。後者については、シリーズがスタートして10年が過ぎたところで、もう一度学会がこの分野の総合的な研究態勢にどのように関わるのかを研究委員会で検討します。

第三には大震災関係の事業です。今年度、大震災関係の調査研究に対して3件程度までの特別研究費を支出することにし、すでに公募を行なったところです。また、震災の被害に遭われた会員の方への会費支払いの免除措置も行います。

第四に、事務局の強化です。今期、事務局が筑波大学から青山学院大学に移転しました。それに伴い、移転の費用に加えて、筑波大学の好意でお借りしていた事務資料の置き場については民間の倉庫等を借りるなどの措置が必要となります。また、それ以前に、これまでも学会の事務量増大や複雑化に伴い事務局の支援体制の検討の必要が言われていましたが、事務局移転に伴いそれを本格的に検討することにします。場合によっては、学会事務をまとめて外部機関に委託することも選択肢に入れた検討を考えています。

以上が今期新たに実施したい事業の大枠の説明で、今年度の事業計画、予算案、委員会についてはこれに基づいて提案されています。もちろん、学会誌の発行や研究集会の開催、学会賞、奨励賞の付与などこれまで実施してきた基本的な事業はそのまま継続します。

なお、今年度以降の予算の枠組みについて1点、変更点があります。それは、従来の一般会計と特別会計を合わせて一般会計としていることです。従来の特別会計は、学会が企画編集した出版物の印税収入をもとに、研究助成金や学会賞、奨励賞、学会活動貢献賞の副賞の賞金に当てることを行っていました。これらの事業が実施された当初は一般会計と切り離して印税収入の枠内で行うアドホックな性格もっていたからです。しかし、現在ではこれらは毎年継続的に事業の一つとして行われるようになって特別扱いをする必要はなくなっています。他方、印税収入は不安定なものであり、今後の見通しは必ずしもつけられていません。こういう理由でこの機会に安定した一般会計に組み込んで他の事業と同様に扱うことにしたものです。ご了承いただければと思います。なお、図書館情報学検定試験特別会計については、昨年度一旦ゼロにしたものですが、今年度新たに一般会計から一定金額を繰り入れてスタートさせます。

以上、今年度の事業計画、予算案には、執行部の交代、事務局移転、財政事情の変化などのいくつかの条件により新しい要素が加わっております。ここまでの説明でご理解いただけるものと思いますが、ご不明の点は事務局までお尋ねくださるようお願い申し上げます。

2011年度定例（通信）総会

正会員各位

会長 根本 彰

2011年度定例（通信）総会を実施いたします。投票用紙（郵便はがき）または電子投票のいずれかの

方法にて投票をお願いいたします。投票方法の詳細については、同封の案内をご覧ください。

記

投票期日：2011年6月30日（木）（郵送は消印有効，電子投票は23:59まで有効）

議題： 第一号議案 2010年度事業報告
第二号議案 2010年度決算報告・会計監査報告
第三号議案 2011年度事業計画案
第四号議案 2011年度予算案

【第一号議案】2010年度事業報告

1. 2010年度総会の開催

(1) 定例（通信）総会

議案に対する投票締切日を2010年7月16日（金）として実施し，全議案が成立した。

(2) 臨時総会

2010年10月10日（日），藤女子大学（北海道札幌市）を会場として開催した。

2. 第58回研究大会の開催

第58回日本図書館情報学会研究大会を，2010年10月9日（土）～10日（日）の2日間，藤女子大学（北海道札幌市）にて開催した。発表36件，参加者169名であった。

3. 2010年度春季研究集会の開催

2010年度日本図書館情報学会春季研究集会を，2010年5月23日（土）に，同志社大学（京都府京都市）にて開催した。発表28件，参加者171名であった。

4. 研究大会におけるシンポジウムの開催

藤女子大学で開催された第58回研究大会2日目の午後に，「図書館・博物館・文書館の連携をめぐる現状と課題」と題してシンポジウムを開催した。

5. 『日本図書館情報学会誌』の発行

第56巻第1号（2010年3月号），第56巻第2号（2010年6月号），第56巻第3号（2010年9号），第56巻第4号（2010年12月号）を発行した。

6. 会報の発行

No.137（2010年4月），No.138（2010年6月），No.139（2010年9月），No.140（2011年2月）を発行した。

7. 「シリーズ・図書館情報学のフロンティア」の刊行

No.10『図書館・博物館・文書館の連携』を刊行し，次期シリーズの企画案を作成した。

8. 日本図書館情報学会賞ならびに同奨励賞

学会賞は，特別に優れた業績を上げ，図書館情報学研究の発展に寄与した者に授与されるが，今年度は「該当なし」となった。

また，奨励賞は，優れた業績を上げ，将来の活躍が期待される若手研究者に授与されるが，今年度は『日本図書館情報学会誌』第55巻第2号から第56巻第1号までに発表した若手研究者を中心に審査し

た結果、次の著作に「日本図書館情報学会奨励賞」を授与した。

・奨励賞

長谷川昭子氏（日本大学文理学部（非常勤講師））

授賞著作：“専門図書館における人材育成：非正規職員を視野に入れた検討”『日本図書館情報学会誌』Vol.55, No.2, 2009, p.77-103.

9. 日本図書館情報学会活動貢献賞

本学会の運営、事業、会員サービスの向上等に関して、その功績が顕著であると認められる学会員に「学会活動貢献賞」を授与した。

・学会活動貢献賞

安形輝氏（亜細亜大学）

受賞理由：電子投票システムの構築をはじめとする積年にわたる学会活動への貢献による

10. 研究助成の募集ならびに交付

研究助成の募集を行い、審議の結果、1件に助成した。

・研究助成

野口久美子氏（大妻女子大学（非常勤講師））

11. 学会誌の電子的提供

NII-ELS を通じて、『日本図書館情報学会誌』掲載論文の電子版を、会員には無料で、一般には有料（3年以前の雑誌はサイトライセンス、5年以前は無料）で提供した。

12. 会報の電子的提供

『日本図書館情報学会会報』PDF版（No.137～140）を電子メールで配信するとともに、学会ウェブサイトにてアーカイブした。また、会報 No.139-F1（2010年7月、PDF版）を電子メールで配信した。

13. メールマガジンの発行

他団体からの案内等を掲載する会員向けメールマガジンの No.194～223 を発行し、希望する会員に配信するとともに、学会ウェブサイトにてアーカイブした。

14. 電子投票の実施

定例（通信）総会、役員選挙において、電子投票を実施した。

15. 図書館情報学検定試験実施検討委員会の活動について

(1) 図書館情報学検定試験（準備試験）の実施

2010年11月28日（日）に東京、大阪、つくばの3会場で図書館情報学検定試験（準備試験）を実施した。受験者数は238名であった。試験実施業務については情報科学技術協会に委託した。

(2) 広報活動

検定試験についての広報活動として、ホームページの開設、ポスター・チラシの作成と配布、雑誌への広告等の掲載、パンフレットの作成を行った。また、3回の研究会（2010年5月8日・日本図書館協会会館、2010年5月29日・同志社大学、2010年9月11日・明治大学）を開催した。

(3) 検定試験についての意見聴取

検定試験についての会員の意見を聴取するために、2010年7月から8月にかけてアンケート調査を実施し、122名の会員から回答を得た。また、公共図書館および大学図書館関係団体、受験者（学生、

社会人), 司書課程教員に対して, 検定試験活用の可能性等について聞き取り調査を実施した。

(4) その他

情報科学技術協会とは検定試験における連携可能性について協議を開始した。また, これまでの検定試験準備試験実施状況などについて総括するための報告書を作成した。なお, 検定試験については, 図書館振興財団から財政的支援を得た。

16. 国際委員会の活動について

2011年2月24日に日本図書館協会会館2階研修室にてオーストラリアのクイーンズランド大学のGillian Hallam氏を講師に招いて「未来のための設計: オーストラリア図書館情報学教育の新モデルの創生 (Designing for the future: Creating a new model of LIS education in Australia)」という演題で国際講演会を開催した。

17. 役員選挙の実施

2011年度~2013年度を任期とする役員選挙を実施した。

18. 理事会・常任理事会の開催

(1) 理事会

第1回 2010年6月5日(土) 東京大学

第2回 2010年11月1日(日) 藤女子大学

(2) 常任理事会

第1回 2010年7月26日(月) 東京大学

第2回 2011年1月29日(土) 東京大学

第3回 2011年3月4日(金) 東京大学

19. 委員会の開催

(1) 学会賞選考委員会

第1回 2010年7月22日(木) 慶應義塾大学

第2回 2010年8月10日(火) 慶應義塾大学

第3回 2010年9月21日(火) 慶應義塾大学

(2) 編集委員会

第1回 2010年10月28日(木) 筑波大学

第2回 2011年3月11日(金) 筑波大学

(3) 研究委員会

第1回 2011年7月17日(土) 慶應義塾大学

第2回 2011年3月19日(土) 慶應義塾大学

(4) 図書館情報学検定試験実施検討委員会

第1回 2010年4月12日(月) 東京大学

第2回 2010年5月15日(土) 明治大学

第3回 2010年9月22日(水) 東京大学

第4回 2010年10月18日(月) 東京大学

第5回 2010年11月28日(日) 機械振興会館

第6回 2010年12月3日(金) 東京大学

第7回 2011年1月7日(金) 東京大学

第8回 2011年2月1日(火) 東京大学

(5) 国際委員会

第1回 2010年9月25日(土) 慶應義塾大学

第2回 2011年2月24日(木) 日本図書館協会

(6) 選挙管理運営委員会

第1回 2010年9月4日(土) 筑波大学

20. 会員現況 (2011年3月31日現在)

名誉会員 1 正会員 643 学生会員 65 団体会員 45 賛助会員 4

※参考 (2010年3月31日時点)

名誉会員 1 正会員 641 学生会員 64 団体会員 46 賛助会員 4

【第二号議案】2010年度決算報告

【一般会計】

(収入の部)

項目	予算 (円)	決算 (円)	備考
1. 会費			
正会員	3,685,000	3,509,000	5,000×699人+前年度追加分等 14,000
学生会員	152,000	143,000	2,000×71人+前年度追加分 1,000
団体会員	690,000	735,000	15,000×49機関
賛助会員	200,000	200,000	50,000×4機関
入会金	30,000	42,000	42件
2. 広告料	176,000	155,000	25,000×5件+30,000×1件
3. 学会誌売上代金	1,680,000	1,886,540	
4. 雑収入	80,000	95,226	利子 972 科学技術振興機構 3,360 電気電子情報学術振興財団著作権使用料 90,984
5. その他	0	552,600	特別会計からの繰入金 (誤入金分)
6. 前年度繰越金	4,450,165	4,450,165	
合計	11,143,165	11,768,531	A

(支出の部)

項目	予算 (円)	決算 (円)	備考
1. 事務費			
消耗品	300,000	115,620	文具・封筒・宛名ラベル・印刷インクなど
事務機器費	200,000	167,570	パソコン・プリンタなど
刊行物送料	720,000	466,538	学会誌 56巻1号～56巻4号(発送委託費用含む) 会報 137号～140号 振込手数料 5,145
通信費	200,000	220,835	切手代・EXPACK代・はがき代 (通信総会用 はがき・印刷代を含む) 郵便小包代 宅急便代
会費徴収手数料	73,500	65,360	郵便振替加入者負担金
通信費	847,000	424,500	常任理事会 414,500 会計監査 10,000
人件費	940,000	916,260	事務局職員賃金等 856,260 会報発送作業等謝金 60,000
会議費	80,000	59,104	理事会 53,104 会計監査 6,000
2. 委員会経費			
研究委員会	40,000	12,500	
編集委員会	250,000	113,825	交通費 99,000 通信費 4,300 会議費 3,525 非会員査読謝礼 7,000
総務委員会	17,500	0	
検定試験実施委員会	10,000	0	

国際委員会	80,000	29,325	交通費 22,500 会議費 6,825
国際研究会	12,500	10,000	非学会員謝礼
選挙管理運営委員会	204,500	319,601	
3. 印刷費			
学会誌	2,500,000	1,191,412	56巻1号 82,966 56巻2号 351,237 56巻3号 312,228 56巻4号 444,981
学会誌電子化費用	21,000	0	
会報	300,000	195,720	No.138 80,640 総会はがき 12,600 投票依頼 16,800 No.139 39,480 No.140 58,800
学会費振込用紙	12,000	12,075	
4. 研究大会・集会			
春季研究集会	170,000	85,987	
研究大会	300,000	300,000	拠出金 300,000
研究大会シンポジウム	12,500	10,000	非学会員パネラー謝礼
5. その他	0	553,100	特別会計への繰入れ（誤入金分） 552,600 振替通知票再発行料金 500
6. 予備費			
予備費	3,852,665	0	
合計	11,143,165	5,269,332	B
	次年度繰越金	6,499,199	A-B

【特別会計】

(収入の部)

項目	予算 (円)	決算 (円)	備考
1. 印税	300,000	261,503	丸善 111,568 勉誠出版 149,935
2. 雑収入	500	649	利息 649
3. 前年度繰越金	1,603,283	1,603,283	
合計	1,903,783	1,865,435	C

(支出の部)

項目	予算 (円)	決算 (円)	備考
1. 研究助成金	200,000	100,000	研究助成金 100,000
2. 学会賞			
学会賞選考委員会	80,000	27,500	交通費 27,500
副賞	150,000	50,000	奨励賞 50,000
学会活動貢献賞	50,000	50,000	副賞 50,000
賞状作成	20,000	11,700	表彰状作成 11,700
3. 『図書館情報学の フロンティア』			
書籍代	60,000	12,600	書籍代 12,600

非会員執筆料	0	29,000	図書カード (10,000 円×2+3,000 円×3)
4. 通信費	2,000	2,040	振込手数料 840 特定記録 1,200
5. 予備費	1,341,783	0	
合計	1,903,783	282,840	D
次年度繰越金		1,582,595	C-D

【図書館情報学検定試験特別会計】

(収入の部)

項目	予算 (円)	決算 (円)	備考
1. 検定試験受験料	760,000	540,000	
2. 雑収入	1,000	283	利子
前年度繰越金	3,110,816	3,110,816	
合計	3,871,816	3,651,099	E

(支出の部)

項目	予算 (円)	決算 (円)	備考
1. 図書館情報学検定試験			
試験実施委託料	1,550,000	1,328,002	情報科学技術協会
検定試験問題作成 人件費	500,000 270,000	400,000 137,800	検定問題作成謝礼 400,000 検定試験検討・実施補助業務謝礼 6,000 事務 51,800
交通費	350,000	182,400	ポスター・ホームページデザイン作成謝礼 80,000 問題作成作業交通費 71,860 各会場本部要員交通費 55,540 打ち合わせ旅費 40,000 採点業務旅費 15,000
会議費	100,000	101,854	問題検討会経費 98,23 採点作業経費 2,780 打合経費 840
通信費	40,000	80,268	振込手数料 郵送代等
資料費	30,000	16,055	図書館情報学検定試験問題集ほか購入費
印刷費	300,000	1,008,913	ポスター・チラシ印刷費 210,913 報告書 172,200 パンフレット 625,800
広告掲載費	100,000	36,750	雑誌広告掲載料
消耗品	10,000	33,176	記念バッチ 16,100 封筒・文房具等
2. 意見聴取活動			
人件費	70,000	0	
交通費	60,000	55,000	打ち合わせ旅費 17,500 検討会旅費 17,500 調査旅費 20,000
会議費	0	5,046	
通信費	20,000	14,995	アンケート調査 13,520 郵送代等
印刷費	0	5,323	案内 (発送作業含む)

消耗品	10,000	170	コピー代
3. 研究会 人件費	100,000	58,000	運営補助者・記録作成者謝礼 38,000 聞き取り謝金 20,000
交通費	50,000	135,780	担当者交通費 20,000 補助者交通費 110,200 聞き取り対象者交通費 5,580
会議費	0	25,872	
会場費	20,000	7,875	会場使用料
消耗品	5,000	15,850	コピー代
4. 通信費	10,000	1,970	振込手数料 郵送代
5. 予備費	276,816	0	
合計	3,871,816	3,651,099	F
	次年度繰越金	0	E-F

2010 年度会計監査報告

会計監査の結果、事務処理、帳簿記入は正確に行われていたことを報告します。

2011 年 5 月 14 日 監事 阪田 蓉子 (印)

2011 年 5 月 14 日 監事 谷口 祥一 (印)

【第三号議案】2011 年度事業計画案

1. 2011 年度総会の開催

(1) 定例（通信）総会

議案に対する投票締切日を 2011 年 6 月 30 日（木）として実施する。

(2) 臨時総会

2011 年 11 月 13 日（日）に日本大学文理学部（東京都世田谷区）を会場として開催する。

2. 第 59 回研究大会の開催

第 59 回日本図書館情報学会研究大会を 2011 年 11 月 12 日（土）・13 日（日）に日本大学文理学部（東京都世田谷区）にて開催する。

3. 2011 年春季研究集会の開催

2011 年春季研究集会を 2011 年 5 月 14 日（土）に東京学芸大学（東京都小金井市）にて開催する。

4. 研究大会におけるシンポジウムの開催

研究大会 2 日目午後に「資料のデジタル化と図書館（仮題）」というテーマでシンポジウムを開催する。

5. 『日本図書館情報学会誌』の発行

第 57 巻第 1 号（2011 年 3 月号）、第 57 巻第 2 号（2011 年 6 月号）、第 57 巻第 3 号（2011 年 9 月号）、第 57 巻第 4 号（2011 年 12 月号）、第 58 巻第 1 号（2012 年 3 月号）を発行する。

6. 会報の発行

No.141（2011 年 4 月）、No.142（2011 年 6 月）、No.143（2011 年 10 月）、No.144（2012 年 1 月）を発行する（印刷版の郵送および PDF 版のメール配信）。

7. 学会刊行物（新シリーズ）刊行の検討

『シリーズ・図書館情報学のフロンティア』につづくシリーズについて、昨年度の企画案を踏まえ、さらに検討を進める。

8. 学会賞ならびに学会奨励賞の選考および授与

図書館情報学の進展に寄与する正会員の優れた著作で2009年度もしくは2010年度に刊行されたものを対象として、「日本図書館情報学会賞」を授与する。また、図書館情報学の進展に寄与する個人会員の優れた著作で『日本図書館情報学会誌』第56巻第2号から第57巻第1号までに掲載されたものを中心に、若手研究者の優れた業績を優先的に評価し、「日本図書館情報学会奨励賞」を授与する。

9. 研究助成の募集ならびに交付

図書館情報学振興のために、会員が個人としてあるいはグループとして計画した研究約2件に対し、研究の遂行ならびにその結果のとりまとめに要する経費の一部を助成する。加えて、東日本大震災に係る研究約3件に対し、経費の一部を助成する。

10. 学会活動貢献賞

本学会の運営、事業、会員サービスの向上等に関して、その功績が顕著であると認められる学会員に「学会活動貢献賞」を授与する。

11. 学会誌の電子的提供

CiNiiを通じて、『日本図書館情報学会誌』掲載論文の電子版を、会員には無料で、一般には有料（3年以前は無料）で提供する。

12. 学会広報の電子化

学会ウェブサイトの更新（学会報の掲載を含む）、メールマガジンなどの配信を行うとともに、学会広報の電子化を推進する。ウェブサイトについては、NIIのサーバが年度内に終了することに対応し、新サーバへの移行を行う。会報の発送・配信等を効率化するため、データベースの整備等を行う。

13. 電子投票の実施

2011年度定例（通信）総会にて、従来の郵送投票に加えて、電子投票を実施する。

14. 図書館情報学教育の在り方に関する検討

図書館情報学教育特別委員会を設置し、海外の図書館情報学教育に関する動向を把握するとともに、図書館情報学教育の将来について検討する。

15. 図書館情報学検定試験（準備試験）の実施

図書館情報学教育特別委員会のもとで、図書館情報学検定試験（準備試験）を実施する。

16. 国際活動

学会活動の国際化をはかるため、海外の関連機関との連携を積極的にはかる。外国人研究者を招いた国際研究会の開催、韓国図書館情報学会との交流などを行う。

17. 図書館情報学用語辞典第4版の編集

図書館情報学用語辞典編集委員会を設置し、図書館情報学用語辞典第4版の編集を開始する。

18. 東日本大震災被災会員の会費減免

東日本大震災において被災した会員の申し出に応じて、今年度年会費を免除する。

19. 事務局体制の在り方の検討

事務局体制の在り方について、業務委託等を含め、検討を進める。

【第四号議案】2011年度予算案

【一般会計】

(収入の部)

項目	予算 (円)	備考
1. 会費		
正会員	3,670,000	現会員 5,000×643 人 未納分 5,000×91 人年
学生会員	136,000	現会員 2,000×65 人 未納分 2,000×3 人年
団体会員	675,000	現会員 15,000×45 機関
賛助会員	200,000	現会員 50,000×4 機関
入会金	30,000	1,000×30 件
2. 広告料	176,000	30,000×1 件+25,000×4 件+23,000×2 件 (57 巻 1 号～57 巻 4 号)
3. 学会誌売上代金	1,680,000	定期購読 1,050,000 (12,000×仕切 0.7×125 セット) バックナンバー売上 630,000 (3,000×仕切 0.7×300 部)
4. 印税	50,000	フロンティア他
5. 雑収入	4,000	科学技術振興機構著作権使用料他
6. 繰入金	1,582,595	特別会計より
7. 前年度繰越金	6,499,199	
合計	14,702,794	

(支出の部)

項目	予算 (円)	備考
1. 事務費		
消耗品	400,000	封筒 (印刷費含む) ・宛名ラベル・文具・プリンタインク他
事務機器費	250,000	ファクス他
刊行物送料	950,000	学会誌 100,000×5 号分 (発送委託料含む) 会報 100,000×3 号分+150,000×1 号分 (発送委託料含む)
通信費	300,000	郵送費・振込手数料他
会費徴収手数料	78,700	郵便振替加入者負担金
交通費	820,000	理事会 240,000 常任理事会 105,000×4 回 会計監査 10,000 事務局職員通勤手当 150,000
人件費	940,000	事務局職員給与 70,000×12 月 会報発送等謝金 100,000
会議費	86,000	理事会 25,000×2 回 常任理事会 8,000×4 回 会計監査 4,000
レンタル料	120,000	ウェブサーバ (20,000×6 月)

賃料	360,000	貸倉庫 (30,000×12月)
2. 委員会経費		
研究委員会	137,000	交通費 54,500×2回 会議費 9,000×2回 消耗品費 5,000 通信費 5,000
編集委員会	277,000	交通費 47,000×3回 会議費 5,000×3回 通信費 10,000 消耗品費 10,000 書評用図書費 30,000 非会員査読謝金 7,000×3名 英文校閲 50,000
総務委員会	340,000	交通費 10,000×2回 会議費 5,000×2回 開発費 300,000 (会員情報データベース他) 通信費 5,000 消耗品費 5,000
図書館情報学教育 特別委員会検定 試験担当	70,000	交通費 15,000×3回 会議費 5,000×3回 通信費 5,000 消耗品費 5,000
同委員会図書館情 報学教育担当	240,000	交通費 85,000×2回 会議費 5,000×2回 研究用図書費 30,000 研究協力謝金 20,000 通信費 5,000 消耗品費 5,000
国際委員会	212,500	交通費 15,000×2回 会議費 5,000×2回 英文校閲料 50,000 通信費 5,000 消耗品費 5,000 国際研究会 12,500 (講師交通費・謝礼) 海外出張旅費 100,000 (韓国図書館情報学会1名分)
学会賞選考委員会	114,000	交通費 42,000×3回 会議費 5,000×3回 通信費 5,000 消耗品費 5,000 資料代 10,000
図書館情報学用語 辞典編集委員会	104,000	交通費 42,000×2回 会議費 5,000×2回 通信費 5,000 消耗品費 5,000
3. 印刷費		
学会誌	2,500,000	500,000×5号 (57巻1号～58巻1号)
会報	300,000	150,000×1号分 (6月号, 通信総会用はがきを含む) 50,000×3号分
学会費振込用紙	12,000	800枚
4. 研究大会・集会経費		
春季研究集会	170,000	春季研究集会事務局経費
研究大会	300,000	研究大会事務局への支援拠出金
研究大会シンポジウム	12,500	非会員パネラー交通費・謝礼等
5. 研究助成費		
研究助成金	1,100,000	研究助成 (通常) 500,000 特別助成 600,000
学会賞等副賞	200,000	学会賞 100,000 学会奨励賞・学会活動貢献賞各 50,000
6. その他		
繰出し	400,000	図書館情報学検定試験特別会計へ繰入れ
予備費	3,909,094	
合計	14,702,794	

【図書館情報学検定試験特別会計】

(収入の部)

項目	予算 (円)	備考
繰入金	400,000	一般会計より
検定試験受験料	800,000	2,000×400人
合計	1,200,000	

(支出の部)

項目	予算 (円)	備考
交通費	35,000	17,500×2回
会議費	10,500	
ちらし作成費	100,000	送料を含む
広告掲載費	149,500	雑誌広告掲載料 (4誌)
会場運営費	30,000	団体会場運営費
説明会運営費	75,000	担当者説明会交通費
予備費	800,000	
合計	1,200,000	

—————2011年度定例 (通信) 総会議案終わり—————

2011～13年度委員会名簿

研究委員会

安形 輝 (亜細亜大学) *	池内 淳 (筑波大学)	岩崎 れい (京都ノートルダム女子大学)
川瀬 直人 (国立国会図書館)	岸田 和明 (慶應義塾大学)	小山 憲司 (日本大学)
中村百合子 (立教大学)	横井 慶子 (東京工業大学図書館)	芳鐘 冬樹 (筑波大学)

編集委員会

須賀 千絵 (慶應義塾大学)	堀 純子 (国立国会図書館)	松林麻実子 (筑波大学) *
三浦 太郎 (明治大学)	緑川 信之 (筑波大学)	村上 泰子 (関西大学)
吉田 右子 (筑波大学)		

国際委員会

池谷のぞみ (慶應義塾大学)	逸村 裕 (筑波大学)	河西由美子 (玉川大学)
竹内比呂也 (千葉大学)	三輪眞木子 (放送大学) *	

図書館情報学教育特別委員会

根本 彰 (東京大学) *

同委員会検定試験担当

青柳 英治 (明治大学)	小山 憲司 (日本大学)	須永 和之 (國學院大學) †
竹内比呂也 (千葉大学)	吉田 右子 (筑波大学)	

同委員会図書館情報学教育担当

青柳 英治 (明治大学) 石田 栄美 (九州大学) † 大谷 康晴 (日本女子大学)
松本 直樹 (大妻女子大学) 三根 慎二 (三重大学) 三輪眞木子 (放送大学)

総務委員会

安形 輝 (亜細亜大学) 今井 福司 (東京大学) 江藤 正己 (学習院女子大学)
野末俊比古 (青山学院大学) *

学会賞選考委員会

山本 順一 (委員長) * 安形 輝 (亜細亜大学) 松林麻実子 (筑波大学)

図書館情報学用語辞典編集委員会

青柳 英治 (明治大学) 安形 麻理 (慶應義塾大学) 村上 泰子 (関西大学)
吉田 右子 (筑波大学) *

選挙管理委員会

金沢みどり (東洋英和女学院大学) *

(2011年5月末日時点, *印は委員長, †印は主査)

委員会・事務局より

会費納入のお願い

同封の振込用紙(ゆうちょ銀行)により、2011年度(今年度)会費について、2011年7月末日までに所定の金額を納入くださいますようお願い申し上げます。なお、昨年度までの会費が未納の場合は、速やかに納入くださいますようお願いいたします。(事務局)

振込先： ゆうちょ銀行 口座番号=00160-5-0045759 口座名義=日本図書館情報学会
ゆうちょ銀行 019店 口座番号=当座 0045759 口座名義=日本図書館情報学会

会費規程：<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jslis/aboutus/kaihi.html>

退会について

退会をなさる場合は、事務局まで電子メールまたは郵送にてご連絡ください(書式は特にありません)。なお、年度末の退会届け出は、翌年度5月末日までとなっております(2011年3月末日の退会は、2011年5月末日の届け出まで有効)。(事務局)

学会賞・学会奨励賞候補の募集

2011年度の学会賞および奨励賞の候補を下記のとおり募集します。会員各位からの応募もしくは推薦をお願いいたします。(学会賞選考委員会)

1. 賞の種類

- (1) 日本図書館情報学会賞
- (2) 日本図書館情報学会奨励賞

2. 選考対象者

- (1) 日本図書館情報学会賞：本学会の正会員

(2) 日本図書館情報学会奨励賞： 本学会の正会員・学生会員

3. 選考対象業績

(1) 日本図書館情報学会賞

正会員によって 2009 年度もしくは 2010 年度に日本語もしくは英語で発表された図書および論文

(2) 日本図書館情報学会奨励賞

a. 『日本図書館情報学会誌』第 56 巻第 2 号から第 57 巻第 1 号までに収録された本学会正会員もしくは学生会員による論文

b. その他の研究業績については、本学会正会員により推薦されたもの。

4. 選考

学会賞選考委員会において審査し、理事会の承認を得て決定する。

5. 授賞

2011 年度臨時総会（2011 年 11 月 13 日）において授賞式を行う。

6. 応募・推薦方法

以下の事項を記載した「学会賞（奨励賞）応募（推薦）用紙」（所定の書式はないが、A4 判横書きが望ましい）を 2011 年 7 月 25 日（月）必着にて郵送または電子メールにて送付すること。なお、応募者・推薦者は非公開とする。

- a. 著者名
- b. 著作名（書名・論題名等）
- c. 出版社／収録雑誌名・巻号・ページ
- d. 応募（推薦）者連絡先
- e. 応募・推薦理由

7. 送付先

日本図書館情報学会学会賞選考委員会

〒594-1198 大阪府和泉市まなび野 1-1 桃山学院大学経営学部 山本順一 気付

E-mail: june01@andrew.ac.jp

8. 日本図書館情報学会表彰規定

<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jslis/aboutus/hyosho.html>

『日本図書館情報学会誌』投稿募集

『日本図書館情報学会誌』の投稿先は以下の通りです。投稿は随時、受け付けています。投稿に際しては「投稿規程」と「執筆要綱」をご参照ください。 (編集委員会)

1. 投稿先

日本図書館情報学会編集委員会

E-mail: mamiko@slis.tsukuba.ac.jp

2. 投稿規程

http://wwwsoc.nii.ac.jp/jslis/journal/c_reg_100301.pdf

3. 執筆要綱

http://wwwsoc.nii.ac.jp/jslis/journal/w_out_100601.pdf

2012 年春季研究集会について

来年（2012 年）の春季研究集会の会場は、三重大学に内定しました。

(研究委員会)

メールマガジンについて

総務委員会ではメールマガジンを随時、発行しています。講読希望の方は、総務委員会まで電子メール (tnozue@ephs.aoyama.ac.jp) にてご連絡ください。(総務委員会)

第 59 回研究大会のご案内

第 59 回研究大会事務局／研究委員会

第 59 回日本図書館情報学会研究大会を下記のとおり開催いたします。

1. 開催要領

日 程： 2011 年 11 月 12 日 (土) , 13 日 (日)

会 場： 日本大学文理学部キャンパス

http://www.chs.nihon-u.ac.jp/access_map.html

事務局： 〒156-8550 東京都世田谷区桜上水 3-25-40

日本大学文理学部教育学科小山研究室内

第 59 回日本図書館情報学会研究大会事務局

Tel: 03-5317-9273 E-mail: jslis2011@chs.nihon-u.ac.jp

参加費： 正会員 4,000 円, 学生会員 1,000 円, 非会員 6,000 円

懇親会費： 5,000 円 (予定)

アクセス： 京王線下高井戸駅あるいは桜上水駅下車徒歩 8 分 (駐車場はございませんので, 公共交通機関をご利用ください)

宿泊案内： 研究大会事務局では宿舎の斡旋はいたしませんので, ご了承ください。

2. プログラム (予定)

11 月 12 日 (土)

12:00~13:00 受付

13:00~13:15 開会式

13:30~17:00 研究発表

17:30~19:00 懇親会

11 月 13 日 (日)

9:00~9:30 受付

9:30~12:00 研究発表

12:00~13:00 昼食 (理事会等)

13:00~14:00 臨時総会

14:00~16:50 シンポジウム

16:50~17:00 閉会式

- ・ 大会二日目午後には臨時総会を開催いたしますので, ぜひご参加ください。
- ・ 大会二日目午後のシンポジウムについては「資料のデジタル化と図書館 (仮題)」を現在, 企画中です。このシンポジウムは一般公開といたしますので, 研究大会参加者以外の方でも無料で参加することができます。

3. 研究発表募集要項

(1) 別記の「研究大会・春季研究集会における発表のルールについて」にご留意のうえ, お申し込みください。

- (2) 応募資格：筆頭発表者が本学会の正会員または学生会員であること。
- (3) 発表時間：一件あたり発表 20 分，質疑 10 分（予定）
- (4) 申込方法：電子メールまたは郵便で「第 59 回日本図書館情報学会研究大会発表申込書」を研究委員会までお送りください。申込みが受理された場合は，「申込書」記載の発表題目・発表要旨等を大会プログラムおよびウェブサイトで公開いたしますので，予めご了承くださいませよう，お願い申し上げます。

宛先：〒180-8629 東京都武蔵野市境 5-24-10 亜細亜大学 安形輝気付

日本図書館情報学会研究委員会

E-mail: jslis-kenkyu@googlegroups.com

- (5) 申込締切：2011 年 9 月 9 日（金）

※ 9 月 9 日（金）までに申込みを受け付けた旨のメールを差し上げます（受理の連絡は別途，行います）。申込みをしたにもかかわらずメールが届かない場合，トラブルの可能性がありますので，9 月 14 日（水）正午までにご連絡ください。このときまでにご連絡がなかった場合は，申込みはなかったものとして処理させていただきます。

- (6) 申込受理：2011 年 9 月中旬までに通知します。
- (7) 要綱原稿：10 月 7 日（金）必着で，A4 判 4 枚（図版・資料を含む）の印刷した版下原稿を大会事務局まで郵送していただく予定です。
- (8) 留意事項：発表部会ごとに発表用パソコンとプロジェクタを用意いたします。これ以外の機器（OHP，ビデオ等）を利用希望（持ち込みを含む）の方は，「申込書」の備考欄に必要機材を明記してください。また，入試等の公務の都合上，発表不可能な日時がある場合は，理由とともに備考欄にご記入いただきますようお願いいたします。

4. 「研究大会・春季研究集会における発表のルールについて」

研究大会および春季研究集会は，次のようなルールの下に統一的に運用されています。発表希望者はルールをご確認のうえ，発表申込をしてください。

- (1) 個人会員（正会員・学生会員）は，研究大会および春季研究集会において同様に発表の権利をもつ。
- (2) 研究発表は，他で公表していないオリジナルなものに限るものとする。
- (3) 個人会員が一度の研究大会あるいは春季研究集会において個人発表および共同発表の筆頭発表者となることは，合わせて 1 回を原則とする。
- (4) 共同研究の筆頭発表者は個人会員でなければならない。
- (5) 発表要綱の原稿は，発表内容を論文の形式で記述するものとする。
- (6) 発表プログラム公表後のプログラム（発表タイトル，発表者，発表内容，発表時間）の変更は，原則として認めない。どうしても変更せざるを得ない場合には，要綱提出の 1 週間前までに研究委員長に理由を付して変更を申し出ること。
- (7) 発表申込，要綱作成，発表，発表後の抄録提出は同一言語で行うこととする。その際の言語は，日本語もしくは英語で行うものとする。

2011 年度特別研究助成の決定

2011 年度の東日本大震災に関連した研究に対する特別研究助成金について，3 件程度の研究に 20 万

円を限度として助成するというところで、6月1日締切りで募集したところ、3件の応募がありました。研究委員会において、下に説明するような手順で審査した結果、以下の2件に合計36万円を助成することに決定しました。

- (1) 研究代表者：河西由美子（玉川大学通信教育部・教育学部）
研究題目：東日本大震災被災学校における図書および図書館ニーズに関する調査研究
研究助成額：18万円
- (2) 研究代表者：野口武悟（専修大学文学部）
研究題目：被災障がい者の情報保障に果たす公共図書館の役割に関する一考察
研究助成額：18万円

審査手順は基本的に一般的な研究助成の審査方法を踏襲しています。あらかじめ評価基準を定め、委員長を除く研究委員3名以上が基準に従って採点した結果を総合して、一定基準以上であった申請を助成対象とすることにしました。評価は、申請者が特定されないよう、氏名等個人が特定される情報を伏せて、申請者名を知りうる立場にある委員長を外して行いました。

評価基準は科学研究費に準拠して、(1) 研究目的の明確さ、(2) 研究の独創性、(3) 遂行可能性、(4) 成果の公表可能性、(5) 申請金額の妥当性、(6) 研究組織の適切性、の6点を参考に、5段階で総合点をつけました。総合点の評価にいたった理由も明記することにしました。総合点の平均が3点以上を助成対象の最低基準としました。 (研究委員会)

学会受領資料

- ・石川徹也，根本彰，吉見俊哉『つながる図書館・博物館・文書館：デジタル化時代の知の基盤づくりへ』東京大学出版会，2011
- ・塩見治人，梅原浩次郎編著『トヨタショックと愛知経済：トヨタ伝説と現実』晃洋書房，2011
- ・田窪直規編『情報資源組織論』（現代図書館情報学シリーズ9）樹村房，2011
- ・中山愛理『図書館を届ける：アメリカ公共図書館における館外サービスの発展』学芸図書，2011
- ・日仏図書館情報学会編『フランス図書館の伝統と情報メディアの革新』勉誠出版，2011

会員の皆様が図書館情報学関係の著作を刊行された際には、可能であれば事務局まで1部お送りいただければ幸いです。書評対象文献の選定、ならびに学会賞選考の際の参考とさせていただきます。

なお、上記リストには、5月末日までに事務局で受領した図書のみを挙げております（著者名の五十音順）。逐次刊行物等については、次号以降に掲載させていただく予定です。 (事務局)

※会報 Web 版には会員の個人情報（会員異動等）は掲載していません。

第 59 回日本図書館情報学会研究大会研究発表申込書（郵送用）

2011 年 月 日提出

発表者の氏名（所属）	
○共同発表の場合には、非会員に*を付けてください。なお、筆頭発表者が実際に登壇者となることが原則です。	
発表題目	
発表要旨 (1) 背景・目的, (2) 方法, (3) 得られた（予想される）成果をもれなく、合計 800 字程度で記述してください。	
備考 (PC, プロジェクタ以外の 機材使用希望 発表不可能日と その理由等)	
●連絡先（共同発表の場合には代表者 1 名について記入してください） 氏名（ふりがな）： 住所 〒 TEL: FAX: E-mail（必ず記入してください）：	
※事務局使用欄	受付番号（ ） 受付日 2011 年 月 日

提出期限は 2011 年 9 月 9 日（金）です。研究委員会宛にお送りください。電子メールでの提出書式（テキストファイル）は電子メール版会報で配布します。学会サイト（<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jslis/>）からも入手できます。